



このワークショップでは・・・

芹ヶ谷公園の成り立ちや公園を取り巻く環境について学び、「緑」をキーワードとした公園でやりたいことをみんなで考え、実践する活動を行っています！

樹木や竹林の適正な管理について学び、芹ヶ谷公園の竹を実際に切り出して、その竹で樋（とい）やお椀をつくりました。



切って



樋



お椀



運んで



▶竹林は景観形成など里山の重要な構成要素としての役割を担っています。

▶竹は成長が早く密に生えるため、そのまま放置すると他の植物の生育スペースや日光が奪われ、他の植物が育ちにくくなり、生物多様性が低下することがあります。

▶竹林の定期的な伐採や間引きを行うことで竹の密度を調整し、日光や栄養分が他の植物にも行き渡るようにすることで、他の植物も育ちやすい環境を作ります。

▶今回は、伐採した竹の活用として、流しそうめんキット（樋・お椀）を作りました！



割って

▶トンカチやカンナを使って節を取り除き、樋（とい）を作りました。

▶節の少し下をのこぎりで切り取り、お椀を作りました。

▶デモンストラーションとして糸を流し、流しそうめん体験をしました。

ワークショップは
今後も継続予定！
これまでの取り組みと
お知らせは市HP
をご覧ください♪





第2回「未来の地球をまもるバイオ炭づくり体験 ～焼き芋も楽しもう！～」編

2025.12.6

問い合わせ先：町田市都市づくり部公園緑地課（042-724-4397）

このワークショップでは・・・

芹ヶ谷公園の成り立ちや公園を取り巻く環境について学び、「緑」をキーワードとした公園でやりたいことをみんなで考え、実践する活動を行っています！

今回は芹ヶ谷公園の木の枝や玉川学園のイベントで活用した竹材を使って「バイオ炭（植物を高温で焼いて作る炭）」をつくる体験を行い、自然の循環を楽しく学びました。

芹ヶ谷公園の落ち枝や薪をみんなで小さく切り分けました



Tamagawa Mokurin Projectと「まちだの木」活用プロジェクトの連携企画で
 使用した竹あかりをバイオ炭の材料として活用



玉川大学工学部の学生が竹の輪切り体験

竹あかり・ゆらぎの丘

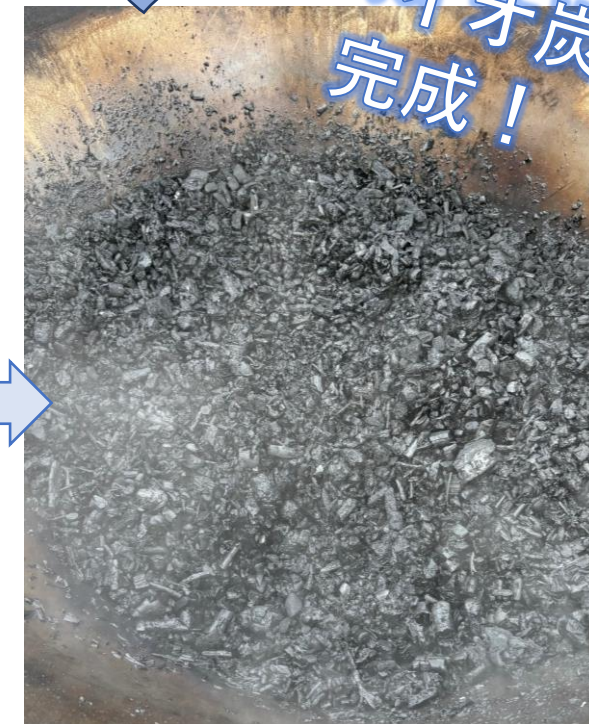
竹を細断



【バイオ炭の効果】

- ◎炭素固定
炭素を安定して地中に固定し、CO₂削減に貢献
- ◎土壌改良
土壌の保水性と通気性を向上させ、植物の成長を促進
- ◎温室効果ガスの抑制
土壌中で温室効果ガスの生成を抑制

バイオ炭完成！



火のぬくもりで焼き芋やマシュマロなども楽しみました



ワークショップは
 今後も継続予定！
 これまでの取り組みと
 お知らせは市HP
 をご覧ください♪

